

衛生法規に関する知識

問1 クリーニング業法に関する次の記述の【 】に入る語句を、下の語群ア～スの中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) この法律は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、【 】の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) クリーニング師の免許は、【 】がクリーニング師試験に合格した者に与える。
- (3) 営業者は、そのクリーニング所の構造設備について都道府県知事（保健所を設置する市又は特別区については、市長又は区長）の検査を受け、その構造設備がこの法律の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。また、これに違反してクリーニング所を使用した者は【 】に処せられる。
- (4) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物は他の洗濯物と区分しておき、これを洗濯するときは、その前に【 】すること。
- (5) 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、期間を定めてその業務を【 】することができる。

<語群>

ア 都道府県知事	イ 利用者	ウ 懲役	エ 届出	オ 報告
カ 厚生労働大臣	キ クリーニング師	ク 禁固	ケ 滅菌	コ 消毒
サ 解散	シ 停止	ス 罰金		

問2 クリーニング業法及び同法施行規則に関する次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 「クリーニング所」とは、洗たく物の処理又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。
- (2) 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- (3) 営業者は、クリーニング所（洗たく物の受取及び引渡しのみを行うものを含む。）ごとに、一人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- (4) クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- (5) クリーニング師の免許の取消処分を受けた者は、5日以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。

問3 クリーニング業法及び同法施行規則で規定されるクリーニング師研修に関する次の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、クリーニング師研修を受ける機会を与えなければならない。
- (2) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後3年以内に、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定した研修を受けなければならない。
- (3) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、クリーニング師の研修を受けた後は、3年を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。
- (4) 営業者は、そのクリーニング所において専ら事務的業務に従事するものに対してもクリーニング師研修を受ける機会を与えなければならない。
- (5) クリーニング師研修を受けたクリーニング師は、業務従事者講習を受けた者とみなされることから、重ねて業務従事者講習を受講する必要はない。

問4 クリーニング業において、洗濯する前に消毒が必要とされているものを、下の語群ア～コの中から5つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

<語群>

ア おむつ	イ 手袋	ウ タオル	エ 給食衣
オ ワイシャツ	カ パンツ (下着)	キ ズボン	ク 手ぬぐい
ケ 帽子	コ 病院、診療所において療養のために使用された寝具		

公衆衛生に関する知識

問5 次の日本国憲法第25条の生存権に関する条文について、それぞれの【 】の中に入る語句として正しいものを下の語群から一つずつ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

すべて国民は、健康で【（1）】な最低限度の生活を営む権利を有する。【（2）】は、すべての生活部面について、【（3）】、【（4）】及び公衆衛生の向上及び【（5）】に努めなければならない。

<語群>

【（1）】

ア 衛生的	イ 社会的	ウ 文化的
-------	-------	-------

【（2）】

エ 国	オ 国民	カ 人民
-----	------	------

【（3）】

キ 健康福祉	ク 医療福祉	ケ 社会福祉
--------	--------	--------

【（4）】

コ 社会保障	サ 健康福祉	シ 医療保障
--------	--------	--------

【（5）】

ス 維持	セ 増進	ソ 改善
------	------	------

問6 次の感染症に関する記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい

- (1) 食中毒は、ノロウイルスを原因としてのみ起こる感染症であり、特に冬季に多く発生する。
- (2) 結核は、過去の病気であり、現在、日本では発生していない。
- (3) エイズは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染して起こる感染症であり、効果的な治療方法はない。
- (4) 新型コロナウイルス感染症は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律において、2類感染症に分類されている。
- (5) 豚熱とは、豚熱ウイルスにより起こる豚、いのししの熱性伝染病であり、人が感染することはない。

問7 次の熱中症に関する記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 熱中症とは、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指す。
- (2) 熱中症は、屋外で発症するものであり、室内で何もしていない時に発症することはない。
- (3) 熱中症を防ぐためには、室内ではエアコン等で温度を調節したり、外出時には日傘や帽子を着用したりするなど、それぞれの場所に応じた対策を取ることが重要である。
- (4) 令和6年4月29日から9月1日までの熱中症による救急搬送人員の年齢区分別では、高齢者が半数以上を占めている。
- (5) 令和6年4月から運用が開始された熱中症特別警戒アラートとは、危険な暑さが予想される場合に、暑さへの「気付き」を促し熱中症の警戒を呼びかけるものである。

問8 次の環境保護に関する記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年に国連で採択された取組みで、世界が2030年までに達成すべき17の目標とその目標をより明確化した169のターゲットから構成されており、目標未達による罰則が定められている。
- (2) プラスチック資源循環促進法では、プラスチックごみの削減や資源循環に向けて、クリーニング業者でもプラスチックの3R及び再生プラスチックやバイオマスプラスチックの利用の取組みが求められている。
- (3) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律施行令に定められている、特定プラスチック使用製品の12製品には、クリーニング業で使用する衣類用ハンガー及び衣類用カバーが含まれる。
- (4) 廃棄物処理法において、産業廃棄物の排出事業者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を使用して、処理を委託した産業廃棄物が最終処分まで適正に処理されたかどうかを確認する努力義務が規定されている。
- (5) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づくPRTR制度では、ドライクリーニングを行うすべての事業者は、取り扱うテトラクロロエチレン等の第1種指定化学物質の排出量及び移動量の届出を行わなくてはならない。

洗たく物の処理に関する知識

問9 次の繊維の名称(A)とその説明(B)の組み合わせについて、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

(1) (A) ポリウレタン

(B) 比重が繊維の中で最も軽く、水に浮く。耐熱性は低く、吸湿性が全くない。衣料用にはあまり使われず、カーペット、布団綿、その他産業資材に使われる。

(2) (A) レーヨン

(B) 原料の木材パルプから人工的につくった再生繊維。ガラスのように光る独特の光沢がファッション衣料として好まれ、婦人衣料などに使われている。染色性・肌触りがよい。吸湿性は綿より大きい^{わた}が、強度は綿、絹より弱い。

(3) (A) アクリル

(B) 合成繊維で、最も羊毛に似た性質を持っている。熱に弱いのでタンブル乾燥温度は60℃以下とすることが望ましい。セーター、靴下、毛布などに多く使われている。

(4) (A) 綿

(B) 動物繊維。しなやかさと吸湿性に優れ、繊維の中の最高級品。汗や摩擦によって毛羽立ち、紫外線により黄変が進行する。

(5) (A) 麻

(B) 天然繊維の中で最も強度がある。吸湿性がありサラッとしてべとつかない夏向けの素材。シワになりやすく、アイロンでもシワを直しにくいなどの短所にも注意して取り扱う。

問10 次の説明文について、【 】のうち正しい方を選び、解答欄にAまたはBを記入しなさい。

- (1) 不溶性のシミには、潤滑作用のある固形石けん、【A. グリセリン B. モノクロロベンゼン】などを使用する。
- (2) 繊維製品に水をはじく性能を与える【A. 防水加工 B. はっ水加工】は、生地に着した水を球状にしてはじく加工である。
- (3) ドライクリーニングにおいて、「仕上げの3条件」とは、品物に応じた最適の①【A. 洗浄 B. 湿気】・②熱・③圧力 のことである。
- (4) ドライクリーニング溶剤の【A. 石油系溶剤 B. テトラクロロエチレン】は、油脂溶解力が大きく、揮発しやすいので、短時間で洗浄、乾燥ができ、生産性が高い。
- (5) 壊れたり脱落しやすい装飾等が付属していて、機械力を抑える必要がある製品は、【A. ドライクリーニング B. ウェットクリーニング】の対象品である。

問11 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

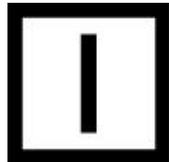
- (1) 背広の襟^{えり}、スラックスの折目には、下ごて蒸気を用いてプレスをしながら蒸気をあてる。
- (2) 漂白剤である過炭酸ナトリウムは、40℃以上で効果を発揮する。ほとんどの染色物に適用できるが、金属と反応して生地を損傷するため、含金染料染色物には使用不可である。
- (3) 石油系溶剤による化学やけど（皮膚障害）が発生する直接の原因は、洗浄時間の不足である。
- (4) 和服のクリーニング方法の「生洗い（いきあらい）」は、襟、裾、身頃などの一部の汚れを、部分的に洗浄して除去する方法である。乾燥は自然乾燥する。
- (5) 水溶性のシミの周囲の輪郭は、比較的是っきりしているものが多く、油性のシミの周囲の輪郭は、はっきりしていないものが多い。

問 1 2 次の JIS L 0001 による取扱い表示記号について、その意味として最も適当なものをア～コの中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1)



(2)



(3)



(4)



(5)



ア 日陰での平干し乾燥がよい。

イ 日陰でのぬれ平干し乾燥がよい。

ウ 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。

エ 塩素系漂白剤による漂白処理ができるが、酸素系漂白剤による漂白処理はできない。

オ 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。

カ パークロロエチレン及び石油系溶剤でのドライクリーニングができる。通常の処理。

キ 石油系溶剤でのドライクリーニングができる。通常の処理。

ク つり干し乾燥がよい。

ケ 底面温度 120℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

コ 底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。